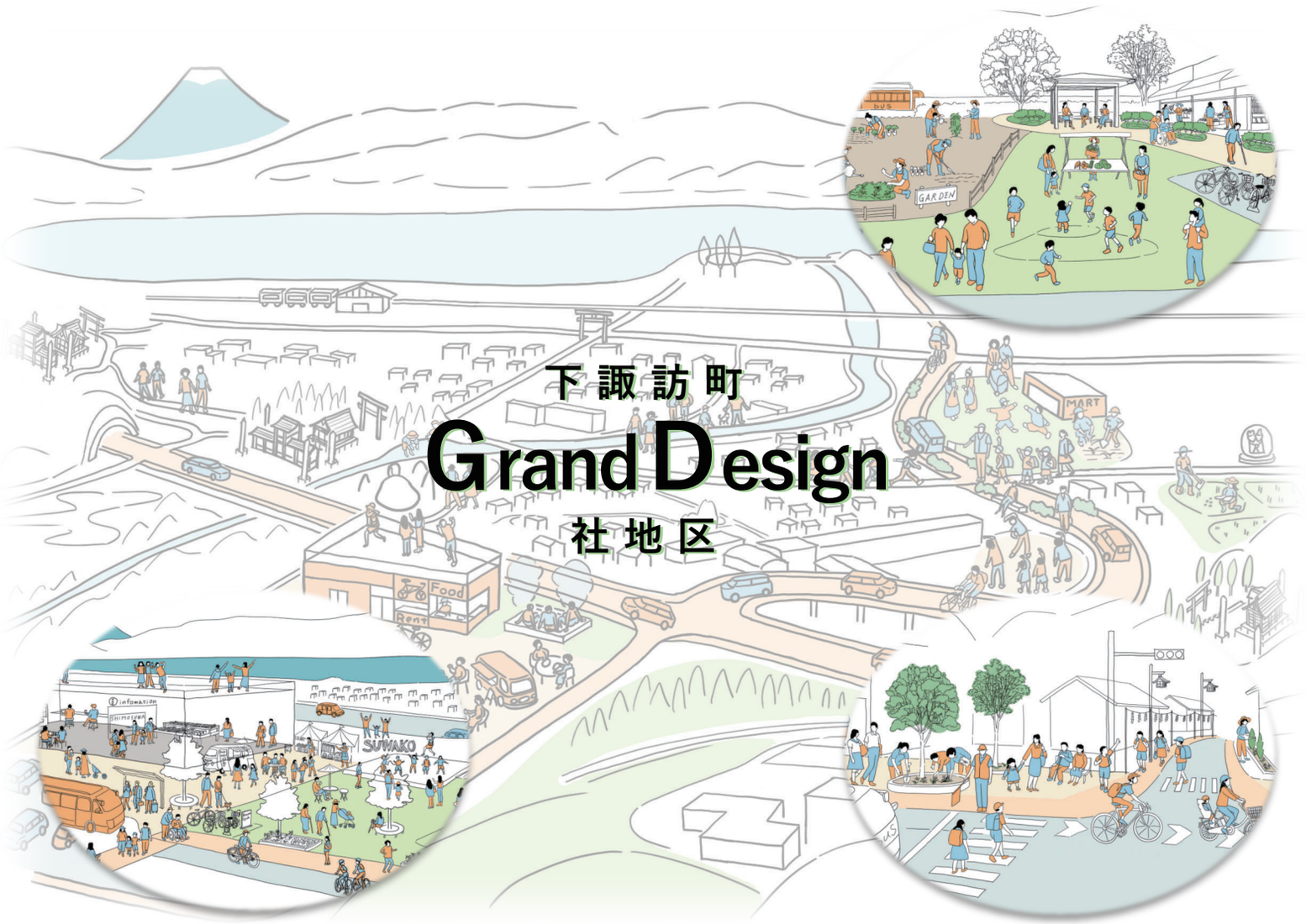


下諏訪町
Grand Design
社地区

目　次

■ 下諏訪町グランドデザイン

Ⅰ．背景・目的 ---------- p. 1

２．策定のプロセス ---------- p. 1

３．実現に向けて ---------- p. 2

■ 社地区

Ⅰ．基本理念 ---------- p. 3

Ⅱ．俯瞰図 ---------- p. 5

Ⅲ．要所図 ---------- p. 7

背景・目的

● 背景

下諏訪町は、古くから諏訪大社の門前町として、江戸時代においては中山道と甲州道中の交わる温泉宿場町として栄え、近代においては製糸業や精密機械工業により発展してきました。

しかしながら近年、特に地方都市で急速に進む人口減少や高齢化により、地域の経済や社会に及ぼす影響への懸念が強まっています。そのため、地域経済の活性化や、地域社会に暮らす人々が誇りと満足感を抱ける持続可能なまちづくりの推進が喫緊の課題で、当町においてもこの課題解決に向けたまちづくりを図る取組が必須となっています。

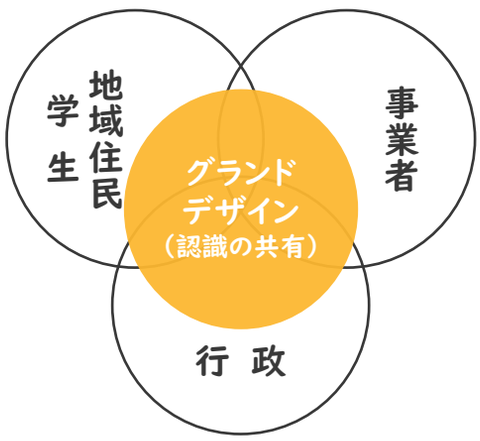
また併せて最近では、移住者による出店、赤砂崎公園・諏訪湖周のサイクリングロードの整備、国道20号バイパス事業等が進められており、当町におけるまちづくりに新たな風が吹いてきています。

こうしたさまざまな動きがある中で、地域住民・事業者・学生等、ここに暮らすすべての「ひと」と行政がまちづくりに対する認識を共有してまちづくりを進めていく必要があります。

● 目的

「下諏訪町グランドデザイン」は、みんなが誇りと満足感を抱ける「住みたいまち、元気な声がひびくまち」の実現に向けて、10年、20年後の将来像を共有するために、地域住民・事業者・学生等幅広い立場の方からの意見を集約し、策定するものです。

策定後は、地域住民・事業者・学生等ここに暮らすひとと行政が一体となって、将来像の実現に向けたまちづくりを進めていくことを目的としています。



2 策定のプロセス

● 策定体制

策定委員会

・グランドデザインの内容協議、合意形成

【構成メンバー】
町の代表者や地域住民の代表者　等

提　案

ワーキンググループ

・まちづくりに資する意見交換やアイディア等の提案

【構成メンバー】
地域住民や事業者、学生、
その地域で活動している団体　等

事務局：建設水道課都市整備係

支　援

・まちづくりアドバイス
・運営
・基礎調査　等

UDC信州
長野大学

● 策定の流れ

●基本理念の策定

●俯瞰図の策定
・基本理念を実現するために地区全体を俯瞰的に描いた将来像

●要所図の策定
・基本理念を実現するために重点となる箇所の将来像をより詳細に描き、官民で連携して取り組める方針

●地区グランドデザインの策定

● 策定地区

3 実現に向けて

● 実現に向けた体制

民間の役割

グランドデザインの考えや地域の課題を把握し、自らできることを考え、実践する。

等

連携 ◀▶ 協力

行政の役割

さまざまな関係者とグランドデザインを共有し、グランドデザインの実現を推進する。
民間の取組に合わせて、ハード整備や制度の見直しを行う。

等

01 みんなで将来像を思い描く

02 実現に向けたまちづくりを進める

03 将来像の実現

グランドデザインの策定
基本理念
将来像（俯瞰図・要所図）

step 1 実現に向けた検討

step 2 実証実験等を実施し効果検証

改　善

step 3 ソフト事業の構築 ハード整備

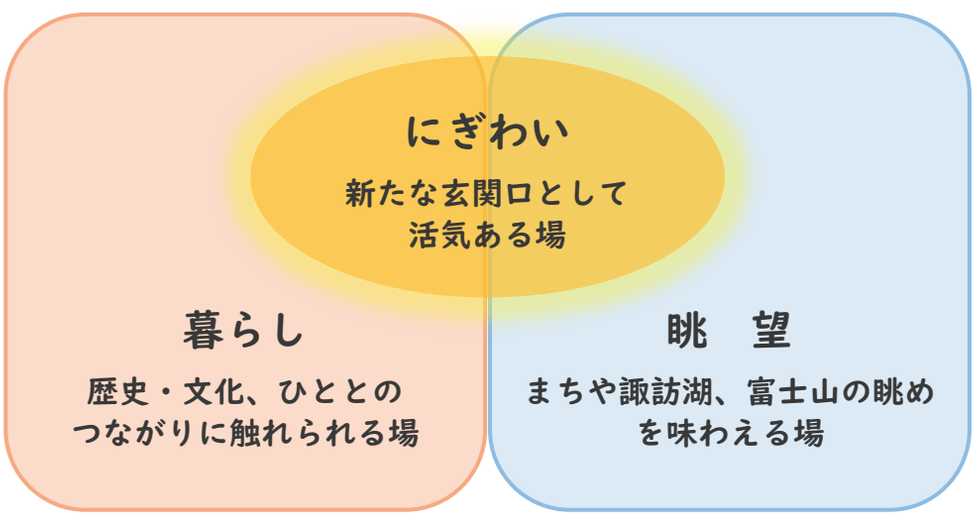
I 基本理念

● 対象エリア

● 基本理念

社地区は、「住みたいまち・元気な声がひびくまち」の実現に向け、地域の歴史文化・あたたかみに触れられ、まちや自然の眺めを活かしつつ、新たなにぎわいある暮らしの場の創出を目指します。

● まちづくりに向けたテーマ



Ⅱ 俯瞰図

基本理念を実現するために地区全体を俯瞰的に描いた将来像です。

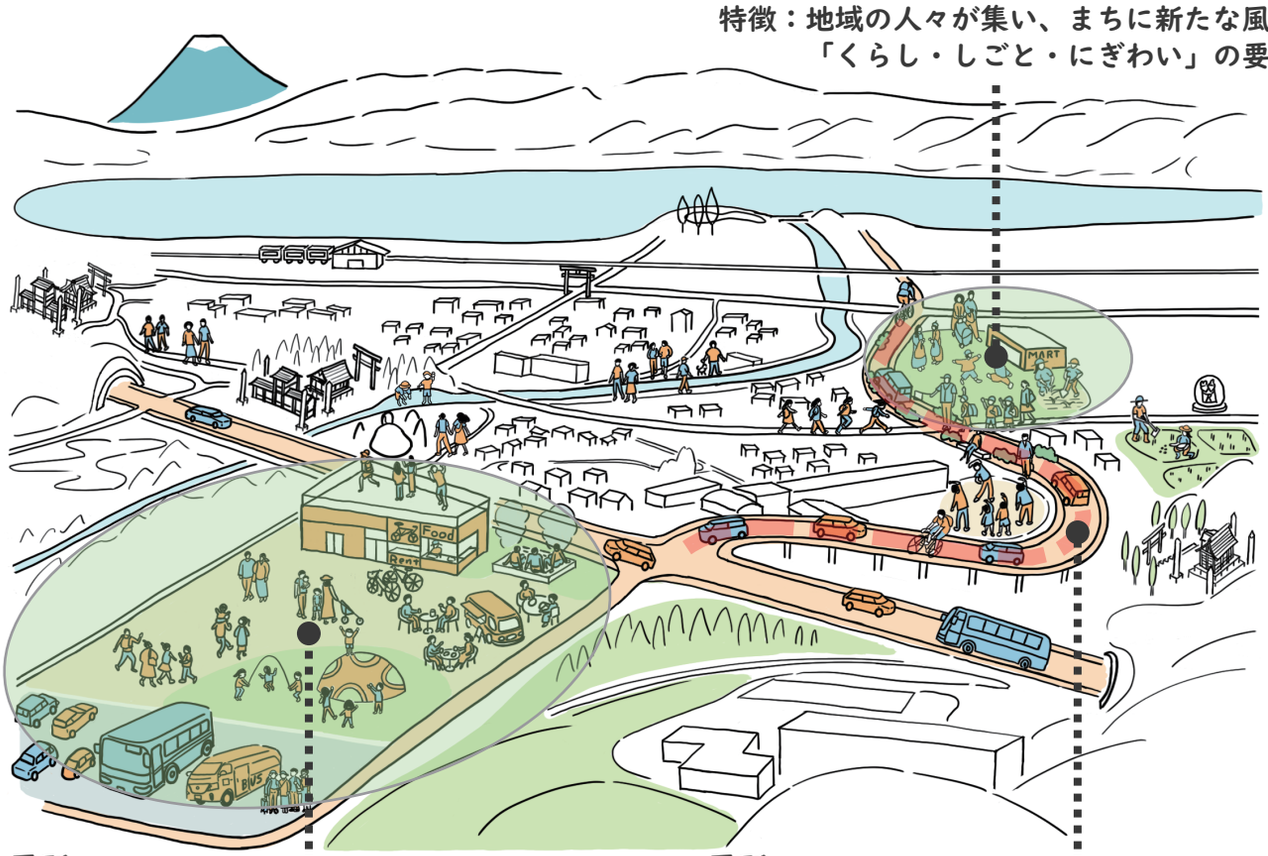
【５～６ページ参照】

Ⅲ 要所図

基本理念を実現するために重点となる箇所の将来像をより詳細に描き、
官民で連携して取り組める方針を示すものです。

【７～９ページ参照】

要所
ニデックインスツルメンツ社宅用地
特徴：地域の人々が集い、まちに新たな風を吹き込む
「くらし・しごと・にぎわい」の要所



要所
ホシスメバ
特徴：諏訪湖や富士山の良好な眺望を有する、
来訪者と地域住民が集い、にぎわう要所

要所
アクセス道路周辺
特徴：眺望が広がるまちのエントランスロードで、
多様な人々が行き交う要所

※基本理念のもとイメージしたものであり、家屋等の位置、形等は正確ではありません。